

No.7/いずみ会(昨年度十日会) **継続 2年目**

**グループ概要**

結成年月 H27.3  
構成員数 18名(50歳以上16名、50歳未満2名)  
活動市町村 佐久市  
代表者 大塚 和枝(69)

**【事業名】いずみ会**

**【事業の種類】**

- ・高齢者の生きがい・健康づくりを広げるための活動
- ・子ども世代や若年層を対象とした交流・支援
- ・まちづくり 地域文化伝承活動
- ・その他、中高年グループが主体となった地域づくり・社会貢献活動

**【これまでの活動内容】**

サロン・大人向けイベント、子ども向けイベント、学習会、カルチャー（お習字教室 映画会 お手玉づくり等）視察見学の受け入れ、研修講師、物販

**【事業の目的】**

- ①少子高齢化に伴う一人暮らし、老々世帯、未婚の子ども世帯が増え、一人で生活していくことが大変になっている現状で、地域住民が支え合って生活していけるシステムづくり。
- ②誰でも気軽に集える、役割を發揮できる、困りごとが持ち込め解決につなげられる居場所づくり。
- ③誰もが地域に住まい続けられるための住民向け啓蒙・学習・共有化の機会を創造する。

**【今年度の事業計画】**

- ①地域で支え合い暮らし続ける為の組織やシステムづくりの具現化開始。
  - (1) 地域全戸訪問し、住民の暮らしの実態や意識等調査アンケート実施
  - (2) 具体的事例を取り上げ解決を試みる。
- ②週3回いずみの家開放（定期開催や教室、各種イベントを含む）
- ③共同でのものづくり～物販を行う（計画前倒しで初年度から始めているが充実を図る）
- ④うどん、郷土料理、ジュースづくりなどの会を開く

**【将来計画】**

<3年目の事業計画>

- ・拠点を毎日開き、誰でもいつでも寄れる居場所づくりをする。
- ・子どもからお年寄りまで様々な世代の交流の場にする
- ・移住者との交流の場にし、移住促進や定着につなげる
- ・会を継続させていくために、自分たちで経済的に自立していく
- ・地域で支え合い暮らし続けるための組織やシステムづくりを形にしていく（啓蒙教育や地域ニーズの抽出を含む）

**【事業実施により地域に期待される効果】**

- ・地域住民同士による支え合いが整い（一人暮らしでも認知症状や障がいがあっても、重篤な病気になっても、寝たきりになっても）誰もを見捨てることなく、望む皆が地域で役割を持ちながら暮らし続け、困ったら相談解決でき、楽しく日々をすごすことができる地域となる。
- ・高齢者が気軽に外出できる機会が増える
- ・年齢に関係なく皆が特技を發揮し活躍できる場が増える
- ・老々世帯や一人暮らしの方の心のよりどころや役割づくりに貢献する
- ・声を掛け合うこと、信頼を獲得することで、お互いの不安や悩みを解消でき、安心して住める地域づくりに繋がる
- ・放課後の子どもたちの居場所としても開放することで、地域全体で子どもたちを見守ることができる。
- ・子ども達による（自主）イベントづくり等により思い出や愛着や役割や生活していく上での術を發揮し自信や誇りを獲得する。

